

発達支援センター OPEN!

お気軽にご相談ください

平成 30 年 4 月から「療育支援室」が「発達支援課」となりました。

発達支援課では、12 月に発達支援センターを設置し、乳幼児期から学齢期（小・中学校）で発達に心配や特徴のあるお子さんの相談を受け付けています。



こんなことに気付いたら、相談を

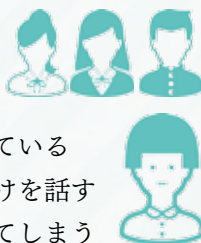
学習面で……

- 聞き間違いが多い
- 行のとばし読み、語句の読み間違いがある
- 計算に時間がかかる



友だちとのかわり……

- 友だちと遊ばずに、一人で過ごしている
- 相手の話を聞かず、自分のことだけを話す
- 相手が嫌がることも遠慮なく言う



日常生活で……

- 運動や指先の動作がぎこちない
- 感覚が極端に過敏である
- じっとしてられない
- イライラ、カッとなりやすい
- ルールや約束が守れない
- 準備や片付けに時間がかかる、できない
- 一定の行動を何度も繰り返す



これらは一例です。心配に思うことがあれば、ご相談ください。

発達支援センターのご利用について

- 利用時間** 月曜～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前 9 時～午後 5 時※要予約
- 対象** 乳幼児期から学齢期（小・中学校）
のお子さんの発達に心配や特徴があつて相談したい人、その家族
- 持ち物** すくすくファイル、母子手帳
- 申込み・問合せ** 発達支援課 ☎ 975・1588

〒 411・0801 三島市谷田 271（錦田こども園内）



歴史の小箱

No.368

地域の歴史

大場区の十王堂

今回は大場駅の西にある「十王堂」について紹介します。

大場駅から西へ歩いて数分の所に浄土宗の寺、名号山光明寺みやうこうみやうじがあります。戦国時代の天文年間（一五三二〜五五）に創建された古刹こしやうで、寺域には多くの石造物が点在し、古い信仰を伝えていきます。

山門を入って右手に「十王堂」が佇んでいます。これは大場区が管理している建物です。十王堂は閻魔王始め十人の王が祀られたお堂です。

実は明治の始めまで、現在の大場駅周辺には、いくつかの寺院やお堂と修験の家がありました。が、神仏分離かみぶつぶんり・廃仏毀釈はいぶつきやくの影響を受けて、取りつぶされています。駅の西南の場所にあった十王堂も光明寺境内へ移され、多くの石造物もまた廃寺となるにあたり、いくつかの寺院・神社へ移されました。この経緯は『天場誌』(平成十二年)に詳しく紹介されています。

十王堂の内部は板敷で、奥の壇上に地藏菩薩像（木造）を中心として石造の十王十体や脱衣婆だつえいばなどが祀られています。「十王」はあまり聞かない名前ですが、道教や仏教の信仰の一つです。「十王信仰」は日本では平安時代末頃をはじめ、中世以降、全国で信仰されていました。



▲大場十王堂（光明寺域内）

亡くなった人が冥土に行き、そこで生前の罪を裁くのが閻魔王など十王です。初七日から七日ごと四十九日まで、百か日、一周忌、三周忌にはそれぞれ十王の裁きを受けるといふ信仰です。六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天）に行くのか、あ

るいは往生できるのかがこの裁きで決まるのです。生前に十王を信仰すると罪が軽くなると信じられていました。

一緒に地藏菩薩が祀られるのはなぜでしょうか。地獄の苦しみを救うのが地藏菩薩といわれます。また閻魔王は地藏菩薩の化身とされていて、閻魔王は地藏菩薩に地獄からの救いを願うようになったようです。

この十王堂では長く大場の住民による念仏講が行われていました。念仏講自体は大場だけでなく、函南町と中郷地域、錦田地域の二十五の集落に講集団があり、それぞれ毎月念仏講を行っていました。

これら周辺各地の講が連携して「北伊豆大念仏講」を組織し、毎月各集落の持ち回りで大念仏講を催していましたが、参加者が高齢化し減少したため、昭和の終わりころで終了しています。十王堂で催していた毎月の念仏講も数年前に終わりました。



▲地藏菩薩と閻魔王

わたしの
おじいちゃんおばあちゃん

当番（にいつ） さくらさん

私のおじいちゃん、おばあちゃん
は、スーパージョージいちゃん、おばあ
ちゃんです。
毎日のようにボウリングに行き、
更に、夜はジムのプールに通って
います。
そんな若々しい二人がとても大好
きです。
私は、一年生の時から、バレーボ
ールをやっていて、練習のない日は
おばあちゃんが教えてくれます。
試合の時は、二人で応援に来て
くれます。これからもたくさん優勝
して、二人を喜ばせたいです。



野口俊和(73才)・文子(67才)

新津 早桜(北上小6年)